

業者は急激に増加する。見よ正に最後の崩壊へ急テンンボに進行しつゝある日本の資本主義は昨年秋以來大量的に失業者を街頭へ投げ出しつゝある。此の失業の大軍をブルジョア政府でさへ秘することが出来ず、二月末に三十五萬餘人（大阪府下二万二千九十二人）と報じてゐる。眞實は此の數倍の失業者が食を求めて彷徨しつゝある。

我等は此の失業の反対と、これ等失業救済の猛烈なる闘争を展開することは、崩壊期に當面せるブルジョアに一大打撃を加へることとなる。

實行方針

- 一、失業反対の全國的共同委員會の設置
- 二、組合關係工場には組合より失業反対の警告を發する
- 三、組合關係以外の事業會社、工場には監督官廳をして警告せしむること
- 四、不可避免的失業者をだす工場は生産資金に相當な手當を支給すること
- 五、失業者を流出するが如き産業合理化的經營に絶對反対すること

失業者に対する對策

- (1) 政府、公共團體をして救済事業を起す事

（四）產業合理化絶對反対の件

主文

我等は現在資本家、地主が行ひつゝある産業合理化は結局、勞働力の強力な搾取より外に何物でもなき事を知るが故に吾等は産業合理化の欺瞞性を曝露すると共に全組織労働者の集中的闘争に依つて粉碎せねばならぬ。

- (2) 預金部の資金を無利子で生産授産資金に即時貸出す事
- (3) 失業者中、大阪市その他の大都市の自治體は公設市場より切符を發行せしめ、市保證の下に生活資料を供給し就職後就職先より日賦、月賦の形式にて回収する様要求する事
- (4) 家賃は失業者中支拂猶豫をなす様借家法の改正を要求する
- (5) 市電、鐵道、電車は失業中は無賃輸送のことを要求する
- (6) 即時失業保険を實施せしめる事
- (7) その他必要な對策

具體的反対及實行方法

理由の（）から（）に到る傾向に對して反対すると同ると共に資本家に都合よき勞働力の搾取を容易ならしめるイ、失業が永久的となる—此の失業への脅威を以つて労働者を脅迫するロ、そちする三労働時間の延長と勤務時間を厳格にするハ、休日、休憩時間を短縮するニ、請負制度を益々強要するホ、割増制度を盛に應用するヘ、罰則を盛に適用するト、賃銀（日給、請負、賃價）を引き下げるチ、老年工が淘汰され婦人、幼年工が酷使さるリ、監督者が非常に多くなるヌ、工場消耗品を始末するル、賞與その他の手當を剥奪する更に産業合理化の强行は小資本を轉落せしめて、資本を集中する結果、益々失業者を出し、一度失業するや仕事を得る事は伸び困難となる。斯くて労働者を餓死に追つて自己の高率なる利潤を貪らうとする日本資本産業合理化に対し斷乎とし反対すると共に、全闘争力を傾注してこれと闘はねばならぬ。

（五）無產政黨合同に關する件

提案 大阪金屬労働組合

資本家、地主の同盟軍の攻勢に對抗して労働者、農民の政治的闘争力を効果的に實践的に擴大強化せんために先づ全國民衆黨と日本大衆黨との即時無條件合同を完成せしむ